

シルバー やまがた

第161号 令和8年1月1日発行 (公社)山形市シルバー人材センター
正会員数1,279名 賛助会員 28個人・58団体(11月末現在)



地藏岳にて (撮影 蔵王地区 高橋秀一さん)

— 内容紹介 —

- | | | | |
|-----|-------------------------------|-------|--------------------|
| P 2 | 新年のご挨拶 (山形市長)
新年を迎えて (理事長) | P 5 | わが街通信 |
| P 3 | 令和7年度安全就業推進大会
ブロック研修会 | P 6～7 | 会員のひろば |
| P 4 | 令和8年 年男・年女の方から
事業普及啓発活動を実施 | P 8 | 文化祭出展作品から |
| | | P 9 | 就業会員を訪ねて
新入会員紹介 |
| | | P 10 | 事務局だより |



新年のご挨拶

山形市長 佐藤 孝 弘

新年、明けましておめでとうございませう。

公益社団法人山形市シルバー人材センターの会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

貴センターにおかれましては、会員の皆様方の豊富な知識や経験・技能等を活かし、就業やボランティア活動など多岐にわたる事業を展開され、地域の活性化と高齢者の社会参加に多大なるご貢献をいただいておりますことに、厚く御礼を申し上げます。

人生100年時代を迎えた今、山形市におきましても、今年も多くの方が100歳を迎えられ、健康寿命も着実に延伸しているところと見えます。その一方で、少子化も進んでおり、将来にわたり活力ある地域社会を維持していくためには、高齢者の方々が健康で地域社会を支える力となり、活躍できる地域づくりが求められております。

こうした中、今年、山形市の経営計画である「山形市発展計画2030」の2年目の年となります。

す。計画では、「健康医療先進都市」をまちづくりのビジョンの一つに掲げ、高齢者人口がピークを迎える2040年のまちの姿を描きながら、将来にわたって元気で活力ある持続可能なまちであり続けるため、高齢者の方々が住み慣れた地域とともに支え合い、積極的に地域活動や就労的活動等に参加し、自分らしくチャレンジできるまちづくりを進めてまいります。

こうした施策をより一層推進していくためには、高齢者の方々が活躍する機会を提供する貴センターの果たす役割は大変重要であり、引き続き、本市の施策推進にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年の干支は「午」です。皆様にとつて、駆け抜ける馬のように、活気あふれる飛躍する年となりますよう、また、公益社団法人山形市シルバー人材センターがますます発展され、新しい年が素晴らしい一年となりますよう心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

謹んで新春のお祝いを申し上げます。会員の皆様には、健やかに新しい年をお迎えのことと存じます。



新年を迎えて

理事長 斎藤 武 弘

旧年中はセンター事業に格別のご理解とご協力を頂きましたことに、厚くお礼申し上げます。

昨年は新たにセンターの第4次中期事業計画を策定し、その基本理念である「健康で『生きがい』『働きがい』が実感できる山形市シルバー人材センター」のもと、会員・役員の皆様とともに新規入会促進や清掃奉仕活動、安全講習会、ブロック研修会等を企画、実施するとともに、未就業会員を対象とした出張相談会など新たな取り組みを進めてまいりました。

また、世話役や地区班長との意見交換、地区研修会等を通じて会員の方から直接ご意見や要望を聞き、センター運営への反映に努めてまいりました。

おかげさまで、センターの事業実績に関しては堅調に推移しております。様々な事業活動に際してもコロナ禍での休止・再開を経て、従前の状況を回復しつつあります。

一方で、「会員の年齢階層」や

「入会時年齢」の高齢化といった現状に対応した就業やセンター運営が大きな課題となっております。

これは、全国のセンターも同様であり、センターの事業活動や会員の就業のみならず、組織の活性化にも直結する課題であります。

これまでの事業活動を継続し、さらに推進していくためには、活動の根幹となる「組織の充実と連携」、「事業運営基盤」の更なる強化が不可欠であり、会員と役員が一体となって取り組んでいかなければなりません。

今年の干支は「丙午（ひのえうま）」。午年は「飛躍」「前進」の象徴でもあり、力強く駆け抜ける馬のように成長や成功を願うのに最適な年と言われています。

今一度、会員の皆様とともに「自主・自立、共働・共助」のシルバーの基本に立ち返り、2026年がセンターとして新たな成長と前進の一年となるよう取り組んでまいります。

結びに、会員の皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

山形県シルバー人材センター連合会 令和七年度安全就業推進大会

安全就業推進委員長 高橋 眞一

去る十月十日、山形県シルバー人材センター連合会主催の「安全就業推進大会」がビッグウイングで開催されました。

安全就業優良シルバー人材センターとして県内三か所のSCが表彰されました。当センターは、今年度十月まで事故が六件発生しております。今後、冬期間に入り転倒事故等が発生しないように、会員の皆様には細心の注意をお願いいたします。次に、安全就業に関する標語の入選発表があり、当センターから二名が入選されました。

優秀賞
気を抜くな 油断の先に危険あり

金井地区 武田 貴行

佳作賞

シルバーの 生きがいを守る 安全就業
南山形・本沢地区 塩野美智子

引き続き、ドリームゲートウエルベース村山店長今野陽介氏より、「足腰と脳を鍛えて健康ライフ」と題しての講演がありました。

大変参考になる話を聞き、その後会員一同実技をまじえての

① 転倒しない身体をつくるため
 ① 健康的（身体的（病気）、精神的（ストレス）、社会的（職場））
 ② 身体づくりに栄養、休養、運動
 ③ 有酸素運動 ウォーキング、ストレッチなど
 ④ 運動効果を高めるため トレーニング（スクワット、有酸素運動、ヨガ）
 ⑤ ト、水分補給、日2〜3リットル
 ⑥ 姿勢矯正、コンロール3つうち1つは日常生活でいっつも出来るもの（風呂、ヨガ、散歩、ゴルフ、音楽鑑賞、映画、仲間との飲食など）

② 健康体操として
 ① 良い姿勢で早歩き（手を大きくふりももを上げる）
 ② イスにすわり足を地面につけ指を動かす
 ③ 床にすわり足をさえており非常に大事
 ・両足は呼吸を止めず、無理はしない
 ・運動は呼吸を止めず、無理はしない

(講演資料より)

良い姿勢での早歩き、両足のつま先上げ、足指の上げ方、片足立ちなどのやり方を教えてもらいました。結果、日頃の努力で転倒しない身体をつくり、いつまでも健康でシルバーライフを送れる生活が出来ればと再確認したところでした。最後に「安全就業宣言」として、安全は全てに優先するとの基本理念を再確認し、事故ゼロに組織一丸となって取り組む事を宣言して大会を終了しました。

「介護保険いざとイキイキ元気のために」 ブロック研修会のご報告

総務部会長 平山 尚

令和七年度のブロック研修会を十一月十日・十一日に開催しました。今年度は「介護保険」をテーマに、会員の皆様を知りたい情報を社会福祉協議会様に講師を務めていただき、二日間で三百名の参加がありました。

山形市にお住いの六五歳以上の高齢者の方には、「介護保険」と高齢者保健福祉のしおり」が全戸配布されています。しかし、なかなか読んでいる人は少ないようです。この「しおり」を再確認するとともに、解りやすく説明していただきました。

いざ介護保険を利用となった時の相談先や認定申請の方法、そして利用できるサービスの内容を教えてくださいました。「いざ」の時の力強いアドバイスとなりました。一番気になる介護認定区分や介護施設の種類の入所条件そして利用料金を説明していただきました。様々な

介護保険サービスを理解して自分に最適なサービスを利用してまいりましょう。

ご自身の包括支援センターがどこの地域か福祉協力員・民生委員がどなたなのか確認し「福祉連絡カード」にすぐに記入して見える場所に置いておきましょう。いざという時は躊躇せず周りの人に助けを求めましょう。

まず大切なのは、介護保険の世話にならずに生活出来るよう健康に留意してまいりましょう。





令和八年 年男・年女



令和八年、今年は午年です。今年の年男・年女の会員さんから抱負などをお聞きしました。

【質問内容】 ① 今年の抱負 ② 生きがいになっていること ③ 健康のために気を付けていること

飯塚・榎沢地区 折原 貞照 (壬午)



- ①健康で介護を受けずに済む1年でありたい。
- ②グラウンド・ゴルフで仲間と語り、適度の酒を楽しむ。
- ③野菜作りで汗を流し、季節の旬を食す。

第6地区 茅野 勲 (壬午)



- ①長年一緒に働いて来た仲間と元気で仕事する。
- ②認知症防止に気の合った仲間4人と健康麻雀。
- ③運動不足解消に健康器具で体を強化すること。

楯山地区 中村 強 (甲午)



- ①各駅停車の列車に乗ってゆっくり旅がしたい。
- ②旅の計画(妄想トレイン)、古代史のロマン。
- ③好き嫌いなく、よく噛んで、よく食べること。

鈴川3地区 畠中美栄子 (甲午)



- ①趣味でやっている野菜作りを頑張りたい。
- ②健康で楽しく働くことです。
- ③極力ストレスは次の日に持ち越さない。

事業普及啓発活動を実施

広報部会長 岸 純一

十月はシルバー人材センターの事業普及啓発月間でした。

・役員による街頭啓発活動

十月三十日(木)、イオン山形南店と山形北店で、斎藤理事長はじめ各理事、各専門部会員、委員会委員、事務局職員等の総勢四十名で実施しました。入会のご案内と仕事の依頼のためのチラシを高齢者のみならず、店に来店された方々にお声がけしながら約千枚配布しました。新規会員増加や新たな仕事の受注のための一助になれば幸いです。

・会員による清掃活動

十月二十二日(水)、山形駅西地区の街路清掃活動を六十四名の会員の方々の参加を得て実施しました。歩道沿いのゴミや落ち葉をきれいにしていただき、気持ちよくなりました。

・文化祭とバザー

十月六日(月)と七日(火)に山形テルサにて、互助会主催文化祭・女性部会の創作品頒布会が開催され、パネル展示や作品によって事業活動の紹介と会



員募集を実施しました。

滝山二地区

沼澤 久雄

『滝山地区は広い』
山形市の南東部一大発展を遂げた「滝山地区」。

美しい自然を背景に名所古跡神社仏閣が多い、自然と文化に満ちた住みやすい土地です。東に千歳山、瀧山、西蔵王（野草園、テレビ塔）国道十三号線、国道二八六号線、国道一一二号線、西には奥羽本線（山形新幹線）白山地区まで広範囲です。

地形は、東南に高く、西北に傾斜し、近年の急速な都市化により地区人口が、一時二万四千人（平成十六年）を超え大きく発展を続けております。

山形市内で最も人口が多い地区に発展しました。地区のシンボル修験の山・瀧山、日本一古い鳥居ヶ丘の石鳥居や西行法師の行脚など、また大山桜の名所地、阿古耶姫の伝説の千歳山、今でも梨青磁等の平清水焼として人気の高い製品を生産し続けています。

公共施設は山形警察署、南二番町交番、滝山公民館、元木公民館、村山総合支庁、滝

山郵便局、南原郵便局、山形銀行、さらやか銀行、山形大学医学部附属病院、東北芸術工科大学、県立山形中央高、日大山形高、山形明正高、市立第六中学校、滝山小学校、南小学校、桜田小学校、病院、眼科三、整形外科三、皮膚科三。耳鼻咽喉科二、産婦人科二、心療内科一、そのほかスーパーストア六、コンビニ等多数あります。教育や福祉公共機関、道路、交通が急速に進み、安全と福祉の充実が生活しやすい環境となっているのが滝山地区です。



千歳山と13号線バイパス

地域紹介 わが街通信

飯塚・榎沢地区

金子 宜弘

ふるさと…先人に感謝し明るい未来へ…

当地区は、山形駅より西の方約4kmの所に位置し、飯塚町、やよい、榎沢、西原の四地区で構成され、自然環境に恵まれている。

○地区の由来（山形市史上巻より抜粋）

飯塚の名は古墳に因む地名かと思われる。

榎沢の名は榎の生えた沢から起こった地名であろうと記載されている。

○地区の一部をご案内『ようこそ 飯塚 きゅうりの里へ』

飯塚コミュニティセンター北側交差点に一堂とした看板が立っている。地区はきゅうりの生産地として有名で、住宅地の周囲に広大なビニールハウスが点在している。

また当該地は、商店、会社が多い。下飯塚道路沿いに「かすりや本店」が見えている。だんごで有名で、店舗に工場が併設され風味が良い。受験生用合格どらやきは逸品である。

『りんごのシンボルメニュー』

メント』

榎沢コミュニティセンター入口に建立されている。榎沢は明治時代初期頃よりりんご栽培がおこなわれた地と石碑に刻まれている。

榎沢から宮浦小学校へ通じる丁字路近くに「ひまわり畑」「コスモス畑」があり、道行く人を楽しませている。榎沢地区ふるさと保全の会の皆様が丹精こめ育てたもので、ひまわりが同じ方向を向き咲く様は圧巻である。

○感謝しながら、各地区の未来に期待したい。



きゅうりの里飯塚



りんごのモニュメント

今の私



第五地区
渡辺はつ子

人生百年時代なんてどう生きればいいのか。友人と以前この話題で話し合った時、友人は、「私は働く、年を取ったら働くのよ。」と元気な答えに、「うそでしょう」と思いました。年を取ったら、働く所なんてなくなるでしょう。実際、私もけっこういい年になり行く所はなくなり、何か仕事をしたいなあ、まだまだ何でも出来るなあ、強く思うようになり、あの時の

話にあったシルバー人材を、思い出しました。

同じような年、同じような悩みを持つている人がいるはずと思い、シルバー人材に入会しました。入ってすぐぐらいに、二日置き、二時間の所を、紹介してもらいました。月・木、決まった時間に身支度をして、行く所がある、やるべき仕事があります。

社員の人と一緒に仕事をして「明日は来る?」、待っていてくれるような言葉に、帰りは気分も良くなり、労働の有難さを味わい、今、私のいきがいです。これから、私のいきがいでくれるよう、身体をいたわり、元気に、勤めていきたいと思えます。

五十五年ぶり二度目の大阪万博



南山形・本沢地区
小田富士夫

三世代での万博旅行が決定したのは、スマホによる入場予約につまづいたからだ。東京

の孫に応援を求めたところ、孫の父親である息子から、夏休みなら合流出来るとの事で決まったのだ。五十五年前と大きく異なるのは、現金は使用出来ない事。スマホを使わなければ何も出来ない事。孫へのこづかいが電子マネーというのも初めての事だ。

一日目ホテルに先着したが、カードキーの使い方がわからずエレベーターにも乗れない。露天風呂にも入れない。夕方に東京組と合流し明日の打ち合わせ。私が出来なかったパビリオンの予約も完璧だ。

いよいよ当日。三十七度の猛暑日。テレビで見たあの夢洲駅の大階段を登ると見えた!大屋根リングだ。しかし空港並の荷物検査で、なかなか前に進まない。お目当ての大阪パビリオンでは、進化した人間洗濯機を見る。しかし、この辺りから妻が体調不良を訴え涼めるスポットで休憩。その間にも当日予約の抽選結果が一時おきに各人



のスマホに送られてくる。パビリオン入場もトイレ使用にも、とにかく行列だ。大感動した三菱未来館を最後に会場を後にした。

孫たちの成長と、自分たちの老いを実感した旅だったが、とにかく暑かったという印象だけが強く残った三世代での珍道中だった。もし三度目の万博があったら四世代で行ってみよう。

吟行漫遊記



西地区
伊東 悠人

堺田
陸羽東線堺田駅前在る小さな分水嶺。奥羽山系の山間から



多員の

健康・趣味



第一地区
荒井 範子

ルーツを探る

東京で生まれ、父親の関係で関東東北各地を転々とした後、山形で暮らすようになってから五十年が経ちました。

七十歳が近付いた頃から終活を始め、同時に自分の生い立ちを振り返り、ルーツはどこにあるのかを調べる時を持つとうと思ふようになりました。

自分のルーツを探る手段は、本籍地の市区町村役場に遡れる全ての戸籍を請求して取得する事と、父親の関連の過去の資料と書籍を調べることです。現在の本籍地から始まり、その前の本籍地へと一つずつ遡って戸籍謄本を取得するという作業の繰り返しは、父親が何故か必要以上に本籍地を変えていたために、思いの外手間と時間が掛かるものでした。

そしてやっと辿り着いた私のルーツは、ロシア人と秋田県人。

棚田の傾斜に沿って勢いよく流れてくる細流が、ここで東西に分かれるのだ。葉っぱを浮かべると丁字形の真中で左右きれいに分流するのが見て取れる。右へ行けば日本海、左へ行けば太平洋に連なる何とも不思議な光景である。

春風駘蕩。流れの傍らの四阿で飽きることもなくじつと見ていた。封人の家から出立して、芭蕉翁も見たのであろうか。

堺田の里山のどか分水嶺

雪解の水分りひそと西東

行く水の迸り岐る春の音

外国人の血が十六分の一混じっている人は、ワンシックスステーンズと呼ばれる事も初めて知りました。

思いも寄らないこの結果は、終活の締めにするには衝撃的過ぎました。

今は色々なルーツを持つ人もそれ誇りを持つて生きられる時代になりましたが、国際結婚など珍しい明治から昭和の時代にどんな生活をしていたのかと、先祖の事に思いを巡らせるルーツを探る貴重な時間となりました。



齋藤理事長 旭日小綬章を受章



令和七年春の叙勲にて、当セクターの齋藤武弘理事長が旭日小綬章を受章されました。

山形市議会議員として長年にわたり山形市の発展に貢献され、市議会議員・県市議会議員会長などを歴任されたご功績が認められたものです。

九月二十二日には、遠藤利明衆議院議員・丸子善弘山形市議会議員長・佐藤孝弘山形市長をはじめ二百十名の方々が出席し、盛大に祝賀会が開催されました。

ご来賓や発起人の皆様からは齋藤理事長のお人柄に触れるご挨拶があり、和やかな雰囲気の中、お祝いをいたしました。



誌上展覧会

～令和7年度文化祭出展作品の紹介～



写真「雨上がり」
賛助会員 和田 勝子



色彩魚拓「ニザダイ」
蔵王地区 古澤 英雄



写真「^{べにっ}紅積み」
第10地区 佐藤 輝夫



トールペイント「welcome」(新貝美代子 著より)
第10地区 佐藤 吉子



書「^{さんとうか}山頭火の句」
第5地区 柿本 青史



書「^{とくがわいえやすこう}徳川家康公遺訓」
出羽・明治地区 植松 ユキ



盆栽「残雪」
鈴川3地区 高橋 忠昭



工芸「くまちゃん 3品」
南山形・本沢地区 塩野 美智子



木工芸「マンション (野草園)」
第2地区 田村 久江

就業会員を訪ねて

福田美知子・大石りつ子

みこころの園 洗濯業務

山形市沼木に特別養護老人ホームみこころの園があります。宿直業務や日直業務、送迎やりネン交換業務で会員が就業しています。今回は、福田美知子さんにお話を伺いました。

福田さんは、入所者及びシヨートステイ利用者の入浴のタイミンで出た物を洗濯する業務にあたっておられます。洗濯業務は、長期休みなどはありません。年間を通して、一日常時二名体制で、早番は午前九時から午後一時まで、遅番は午前九時から午後五時まで勤務されています。

大きな洗濯機を使い入所者の衣類やタオル、シーツ等をすべて一手に引き受けて、洗い、乾燥、折りたたみと所定の位置に区分けまで行っています。ずっと洗濯室の中での仕事になるそうです。



とてもハードな仕事とお見受けしましたが、ご本人の明るい笑顔を絶やさずに仕事に励むお姿に、感を深くしてきました。「つらいことはありませんか。」とお聞きすると、「同僚も施設の職員の方も皆いい方ばかりで、つらいことはありませんよ。やりがいを持って楽しく働いています。」とのこと。私もこうありたいと思いました。

(取材・広報部)

新入会員紹介

第一地区	鈴木哲子	鈴川三地区	伊藤俊文
第二地区	前田吉蔵	南山形・本沢地区	鈴木美喜雄
第三地区	三浦京子	南沼原地区	武田一男
第四地区	佐藤龍一		櫻井ひとみ
第五地区	黒沼弘美		芳賀豊松
第六地区	小山哲夫		黒沼光一
第七地区	藤澤秀光		石沢美代
第八地区	齊藤勝		菊池正男
第九地区	北村仁志		松橋渉
第十地区	北村京子		原恵子
西地地区	奥山千佳子		五十嵐淳
第一地区	青木敬子		伊藤則子
第二地区	石黒洋子		村上紀子
第三地区	小木曾孝行		風間互
第四地区	隴氣美智子		多田健次
第五地区	竹島八重子		櫻井修一
第六地区	永井弘		尾形恵美
第七地区	武田広幸		渡辺美枝子
第八地区	武田雅一		佐藤典子
第九地区	井上廣志		佐藤政利
第十地区	松田耕		酒井紀子
第一地区	渡辺敏彦		堀川恵悦
第二地区	小野仁		山川正
第三地区	石沢正利		齊藤益男
第四地区	丸藤智代子		門間祐美子
第五地区	清野孝子		横山八重子
第六地区	加藤美智子		成川眞貴子
第七地区	栗田公子		伊藤浩子
第八地区	三国富夫		

配分金＝所得税法上の取扱い

シルバー人材センターでご紹介する仕事には「請負事業」と「派遣事業」の2種類があり、そのうち「請負」で仕事をして得た『配分金』は所得税法上「雑所得」として取り扱われます。課税対象者になると思われる会員の方は各自で最寄りの税務署に申告が必要となります。

センターでは、**令和7年分の配分金合計額を証明する『配分金支払証明書』を、今年請負でお仕事をされた方全員に郵送にて交付いたします。**届いた証明書を、確定申告等でご利用ください。

また、「派遣事業」で就業して得た『賃金』は、「給与収入」として取り扱われますので、山形県シルバー人材センター連合会より源泉徴収票が送付されます。

『配分金』については、租税特別措置法第27条の「家内労働特例」に該当します。配分金の他に給与収入がある場合は、控除が認められる65万円から給与所得控除額を控除した残額が特例で控除できる金額です。今年の控除額については他にも変更点がありますので、ご注意ください。

【今年の変更点】

詳細はこちら

- ・ 家内労働特例の控除額が 55 万円から 65 万円へ引き上げ
- ・ 給与所得控除の最低保証額が 55 万円から 65 万円へ引き上げ
- ・ 基礎控除額が所得に応じて最大 95 万円までに変更



また、公的年金を受給している場合は配分金とは別に所得控除が受けられます。
 なお、配分金収入、給与収入、公的年金収入以外の収入がある場合の申告については、別途書類の提出が必要な場合がありますので、税務署にお尋ねください。

※給与所得控除の改正、基礎控除の改正、公的年金等に係る雑所得の速算表については、センターHPでも確認できます。

事務局からのお知らせ

（株）山形市シルバー人材センター

山形市双葉町一丁目二番二号
 電話（〇三）六四七―六六四七

URL: <https://web.sjc.ne.jp/yamagatashi>
 E-mail: yamagatashi@sjc.ne.jp

お知らせとお願ひ

配分金支払日

- 一月二十日(火)
- 二月二十日(金)
- 三月十九日(木)

入会説明会(午後一時三十分)

会員の皆さんからも入会の勧誘をお願いします。

- 一月八日(木) 十五日(木)
- 二月五日(木) 十日(火)
- 二月十七日(火)
- 三月三日(火) 十日(火)
- 三月十七日(火)

就業相談日(午後一時三十分)

- (就業に関しての相談です)
- 一月十四日(水)
- 二月四日(水)
- 三月十一日(水)

※就業相談の受付は午後一時十五分からです。予約等はできませんのでご了承ください。

計報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

- 鈴川一地区 太田 治男さん(七十二歳)
- 鈴川三地区 鈴木 一見さん(六十九歳)
- 第九地区 佐藤智恵子さん(七十二歳)
- 金井地区 細谷 俊廣さん(八十一歳)



あとかぎ

あけましておめでとうございます
 会員の皆様には穏やかなお正月をお迎えでしようか。

昨年は、仕事や趣味のことなど様々なことを文章にして、ご投稿いただきありがとうございました。シルバーやまがたの紙面も楽しんでいただけるとなっていると、感謝しております。

天気予報には雪マークが出始めましたが、クマの出没情報も連日出ています。昨年は例年の数倍もの目撃情報となつていくとのこと、人身被害も多く、クマは今一番の脅威です。早く冬眠してほしいものです。

今年は午年です。馬が前へ前へと走る姿の美しさや力強さのイメージから発展する年、縁起のよい年とされているそうです。皆様にとって新しい年が幸多い一年でありますように願っております。

(I・Y)